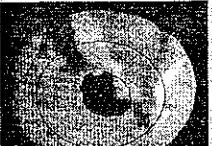


# 設置後の閉塞率改善データ

1 メトロエステート西巣鴨(東京・豊島区、143戸) 1年後の経過報告

赤鑄進行ストップ、7.7%~13.4%改善へ

## 内視鏡調査写真及び設置前及び設置後閉塞率改善一覧表

内視鏡調査箇所	内視鏡調査写真 (設置前)	閉塞率 (設置前)	内視鏡調査写真 (設置 12 ヵ月後)	閉塞率 (設置後)	改善 閉塞率
501 号室 トイレ給水管 第一継手部 (効果判定箇所 1)		86%		79.4%	7.7%
1307 号室 トイレ給水管 第一継手部 (効果判定箇所 2)		62.9%		54.5%	13.4%

設置して、午後のデータを見ると閉塞率が確実に改善されてしまっているようだ。ただ、気になっている点がある。NMRハイブリックターーは水を流して効率を出す方式のことから、水が流れないところは効果がない、ということになると、なるその意味からすれば、マンション内のすべての配管に同一効果が發揮されているのかどうか確認してみる必要がある、と考えている。改善データが出ているからと言って、手放しに喜んではいるわけではない。



# 配管は丈夫?

設置約一年後の平成十三年七月二十六日の内視鏡調査では五〇一号室が七九・四%へ、一三〇七号室が五四・五%へ、それぞれ改善していることが確認できた。

「NMRパイプテクター」  
（沿行社長）が販売する管内充填装置  
「NMRパイプテクター」のマンショ  
ンへの設置が急増している。管理網  
合が同装置の採用を決定する大きな要  
因の一つは、『金鎖閉塞』(いそく)  
縮小効果保証が挙げられる。鍵の  
管内閉塞率に一定の改善が見られな  
かった場合には返金、装置を取り外

導入したマンションの設置後の閉塞率改善状況を調べてみた。すとの保証書をスーカー側が差し入れているのである。果たして実際に閉塞率に改善が見られるのか気になるところだ。そこで、導入したマンションの設置後の閉塞率改善状況を調べてみた。

メトロエスティー西側、銷はかなり進行してお  
り、給水方式は高架水槽、水配管第1継ぎ手部では  
給水管道が塗装化、閉塞率が六八・〇%、一  
九九〇年一月までの内部分流を調査する  
結果、全体的に排水手部の  
配管および一三〇七号  
手口給水配管を、内  
設置約一年後の平成十  
三年七月二十六日の内視  
鏡調査では五〇一号室が

## 2 成増ハウス(東京・板橋、157戸)

## 1年後の経過報告

黒鉄化は確実に、12.3%～17.4%改善へ

### 内視鏡調査写真及び設置前及び設置後閉塞率改善一覧表

内視鏡調査箇所	内視鏡調査写真 (設置前)	閉塞率 (設置前)	内視鏡調査写真 (設置 12か月後)	閉塞率 (設置後)	改善率
714号室トイレ 給水口第一継手部  (効果判定保証箇所)		94.0%		77.7%	17.4%
410号室トイレ 給水口第一継手部  *トイレ給水管のリフ オームにより赤錆の形 状が変形しているた め、現状の赤錆閉塞に 上りその閉塞率を算出 しております。 (効果判定保証箇所)		95.3%		83.6%	12.3%

NMRペイプテクターを設置した。アルギーによる肌荒れがない改善されたようだ。また、孫が幼稚園から持ち帰った金魚の成長が著しくてびっくりしている。私自身も先日、法事で親せき一同が会った時、『顔のつやがいいね』、と嘆美言わわれ、これもペイプテクターの効果かなあと考えている。



# 顔の艶の良さ に驚かれる!!

管理組合の声

「これらの結果配管の赤錆の進行が完全に止まっている。同時に、ノンM.R.バイオペクター<sup>TM</sup>を使用し続けると毎年で95%以上赤錆は黒錆遷元され続け、赤錆開裂がさらにに縮小し続ける。」  
いうことが証された。

成増ハーツは築十九年。各部屋とも丸の窓を  
にならマントンで、給  
水方式は高架水槽方式。  
給水管には塗化ビニール  
ライニング钢管が使用さ  
れていた。

平成三十一年八月二十八日および同年十月十七日  
に四二〇・七一四号室の  
トイレ給水配管末端部か  
ら内視鏡により配管経き  
手部の赤錆閉塞状況を調  
べたところ、赤錆閉塞率を  
超える赤錆閉塞率で、最  
大は九五・三%となり  
赤錆閉塞が進んでいた。  
同年十一月二十二日に  
「NMRパイプテクタ  
ー」を設置、約一年後の  
十一月二十六日に再び内  
視鏡を同じ箇所に挿入、  
ほぼ同じ条件のもとで写  
真撮影を行った。

その結果、七一四号室  
の内視鏡写真を見ると、  
赤錆閉塞率が約二〇%減  
少して、内視鏡写真によ  
り、閉塞率が約一〇%減  
少している。